

あの日のこと、今、そして未来は

ここに生きる思い 500日の記録

大地震に襲われた阿蘇の人々は、その日、どう行動し、何を思ったのか。大自然や家屋、インフラはどう破壊されたのか。阿蘇を愛し、そこで生きつづけようとする人たちが、500日の体験、復興の思い、そして未来を語る。



佐野 徳正 木之内 均 江藤 俊雄



山内 博史 松野 紳一 吉村 孫徳



高月 一喜 栗原 有紀夫 出野 靖雄



河津 誠 北里 かおり 北 正純

500日の記録

撮影
長野良市
長野梢人

ゼロの阿蘇

止まった時間、そこで生きる人々の思い——
熊本地震記録映像DVD

ドローン映像で迫る阿蘇の真実

空から見た阿蘇 500日の記録

2016年4月16日、阿蘇が一変した。崩れた山、途絶えた道、倒壊した家屋…。愛する故郷に暮らす私たち住民の目に入ってきた光景は。500日間の真実がドローンを駆使した映像でよみがえる。



熊本地震
記録映像DVD

ゼロの阿蘇 ——500日の記録

収録時間 78 分
画面サイズ 16:9

販売価格
10,000 円+税



製作・著作：一般社団法人 九州学び舎

制作：有限会社 アートファイブ



4月16日午前1時26分。

夢の中か、実際の音だったか、わかりません。遠くから地鳴りが押し寄せてきました。夏の終わりにクマゼミがはげしく鳴く、あれにもっとも近い音でした。最後に「ドーン」という音がして、目が覚めました。

2階に寝ていた三男一家が階段を駆け下りてくる音、ものが倒れる音、ガラスが割れる音、間の中で一斉にいろんな音がします。私は部屋を出ようとしたが、ドアが開きません。廊下に立っていた本棚が倒れかかっていたのです。ドアを蹴破って、部屋から脱出しました。

家の外に出ると、向かいの広場に近所の人々が集まっていました。みんな着の身着のままです。

寒いので、車の中で寒さをしのぐしかなかった。家族を車に入れ、私は近所の人たちの安否確認に回りました。

そのとき、「橋が落ちた」「橋にヒビが入った」

という噂を耳にしました。阿蘇大橋や南阿蘇橋

が落ちたとしたら大変です。夜が明けたらすぐに橋を確認する必要がある、と私は考えました。夜が明けてきましたが、余震がつづいていました。自宅と事務所に入ってみると、ものが倒れて散乱していましたが、家が倒れたり潰れたりはありませんでした。近所の家も同じでした。

8時前、私は軽トラックに乗り、黒川地区に向かって出発しました。アスファルト道路はいたるところ段差ができていて、軽トラでも走れません。農道を選んで走りました。西へ向かって進めば進むほど、風景が一変しているのです。私が見慣れた、のどかな村の風景はどこにもありません。

軽トラを停めて、歩いて黒川地区に入ったのは、8時半ごろです。すでに自衛隊の複数の車両と隊員たちが来ていました。ヘリコプターの爆音の一方で、外に避難している人たちがぼろ

ぜんとしていて、その対比が印象に残っています。阿蘇大橋もなくなっていました。

これは夢ではないのか？ 黒川地区の光景に、私は自分の目を疑いました。どう受け止めればいいのか、頭と心がぐるぐる回っていました。そのとき、不思議なことに、もう一人の自分が私に指示を出したのです。

「おまえには、写真家として、この状況を撮影していく義務があるぞ」と。

この指示が私を突き動かしました。同時に、私はものすごく焦りました。

落ちた橋、崩れた道、崩れ落ちた山肌、倒壊した建物、…。一刻も早く、写真を撮って、外部に伝えなくてはならない。そのためには、いろんな場所を急いで尋ね歩かなくてはならない。それから、焦りに駆られて動き回る日々が過ぎました。

長野 良市

公共図書館用・ライブラリー用DVDは、
下記の使用を許諾しております。

- 個人向け館内視聴
- 個人向け館外貸出
- 非営利目的館内上映
- 非営利館外上映用団体貸出

熊本地震記録映像 DVD
ゼロの阿蘇 500日の記録
価格 **10,000**円＋税
＊ 図書館・団体・ライブラリー価格

製作・著作：

一般社団法人 九州学び舎

〒869-1404

熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽 1475-1

Tel: 0967-67-2108

Fax: 0967-67-1540

E-mail: kyushumanabisha@gmail.com

http://kyushumanabisha.wixsite.com/home



撮影・取材：長野良市
1957年生まれ
熊本県南阿蘇村在住の写真家

取扱店

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101